

## 2 決算規模・決算収支

項 目	S61 (30年前)	H8 (20年前)	H18 (10年前)	H27 (1年前)	H28 (決算年度)	前年度比 (増減数)	前年度比 (増減率)
歳入総額	336.7億円	486.6億円	596.6億円	675.3億円	688.0億円	+12.7億円	+1.9%
歳出総額	326.0億円	472.0億円	577.0億円	643.9億円	662.8億円	+18.9億円	+2.9%
歳入（市民一人当たり）	214,344円	298,256円	347,497円	369,487円	374,733円	+5,246円	+1.4%
歳出（市民一人当たり）	207,560円	289,299円	336,072円	352,330円	361,032円	+8,702円	+2.5%
収支							
歳入歳出差引額*	10.7億円	14.6億円	19.6億円	31.4億円	25.2億円	▲ 6.2億円	▲ 19.8%
実質収支*	10.3億円	12.8億円	17.5億円	29.1億円	23.0億円	▲ 6.0億円	▲ 20.7%
単年度収支*	1.7億円	2.4億円	▲ 0.7億円	7.4億円	▲ 6.0億円	▲ 13.4億円	▲ 181.7%
実質単年度収支*	6.5億円	▲ 7.9億円	0.1億円	▲ 0.2億円	▲ 6.4億円	▲ 6.2億円	+2,751.6%
実質収支比率*	5.1%	4.1%	5.7%	8.6%	6.7%	▲ 1.9ポイント	—

## (概 況)

- 平成28年度の普通会計決算は
  - ①歳入決算額 約688.0億円（前年度比約12.7億円、1.9%増）
  - ②歳出決算額 約662.8億円（前年度比約18.9億円、2.9%増）
 となり、歳入歳出決算ともに過去最大となりました。
- 歳入歳出の差引額\*は約25.2億円の黒字となり、このうち平成29年度に繰り越して行う事業の財源として使う約2.1億円を引いた実質収支\*は、約23.0億円の黒字となりました。  
 実質収支\*は、前年度以前からの収支の累積で、この中には前年度の実質収支\*が含まれています。
- 平成28年度の歳入歳出決算には、前年度（平成27年度）の収支剰余金、財政調整基金\*（市の貯金）の取崩しや積立てによる財政調整の結果も含まれています。  
 これらの影響を除いた平成28年度1年間だけの実質的な収支状況（実質単年度収支\*）は、主に市税や都税交付金の減少により約6.4億円の赤字となりました。
- 実質収支\*の黒字・赤字の程度を表す実質収支比率\*は6.7%となり、近年の平均的な水準です。

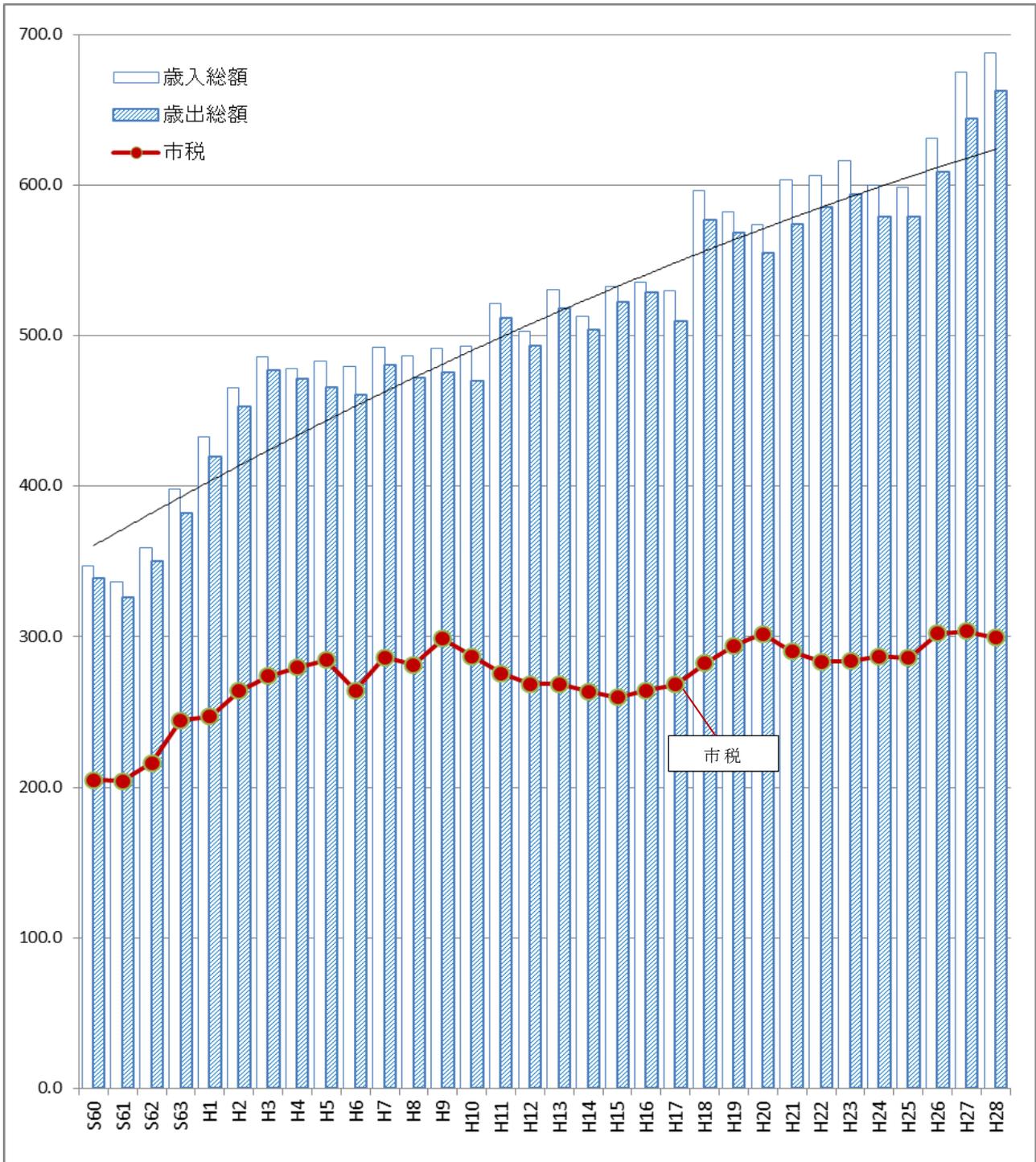
（実質収支比率＝実質収支／標準財政規模\*）

（「\*」の記号がついている用語は、巻末に用語解説があります。）

2 決算規模・決算収支

【グラフ】 決算規模の推移

(単位：億円)

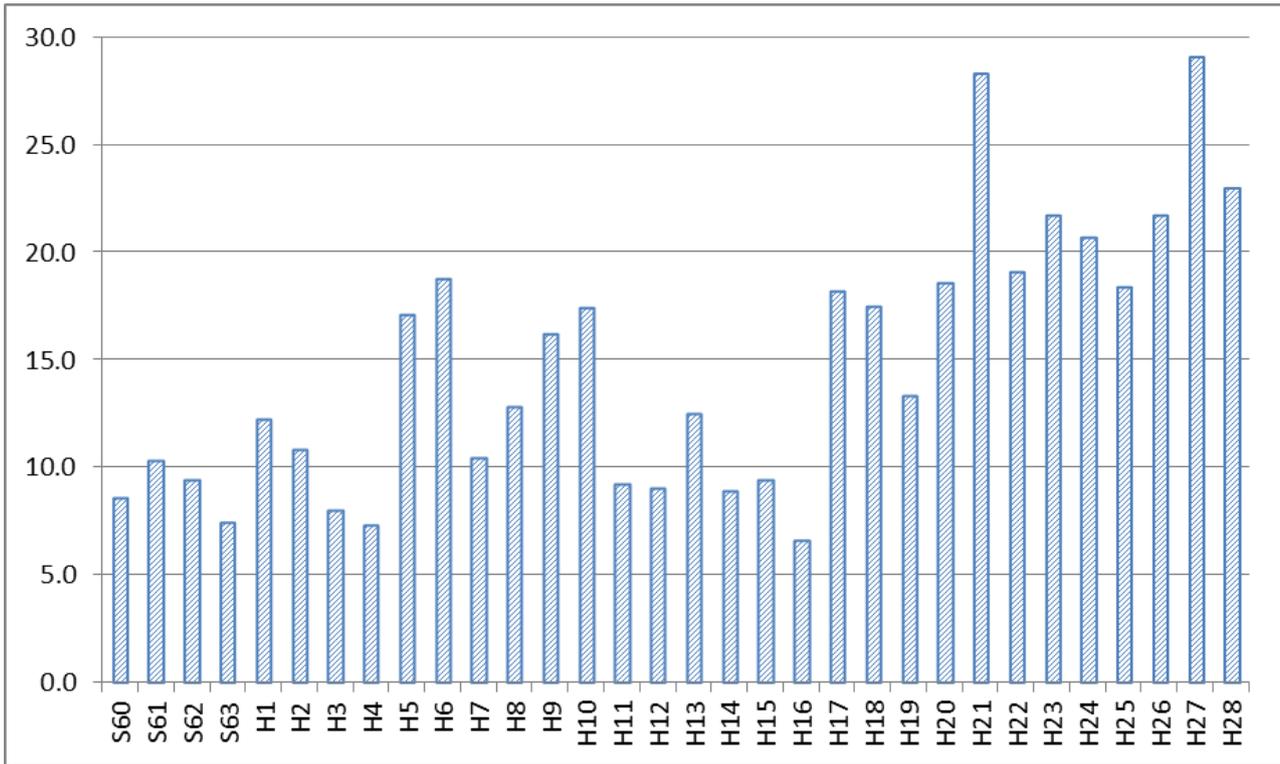


- 歳入歳出決算額は、継続的な増加傾向にあります。  
昭和61年度の歳出決算額は約326.0億円でした。  
平成28年度は約662.8億円なので、この30年間で歳出は約2倍に増加しています。
- 市税が伸び悩む中、歳出決算額の増加に市税が追い付かず、その差は年々拡大しています。

2 決算規模・決算収支

【グラフ】実質収支（累積）の推移

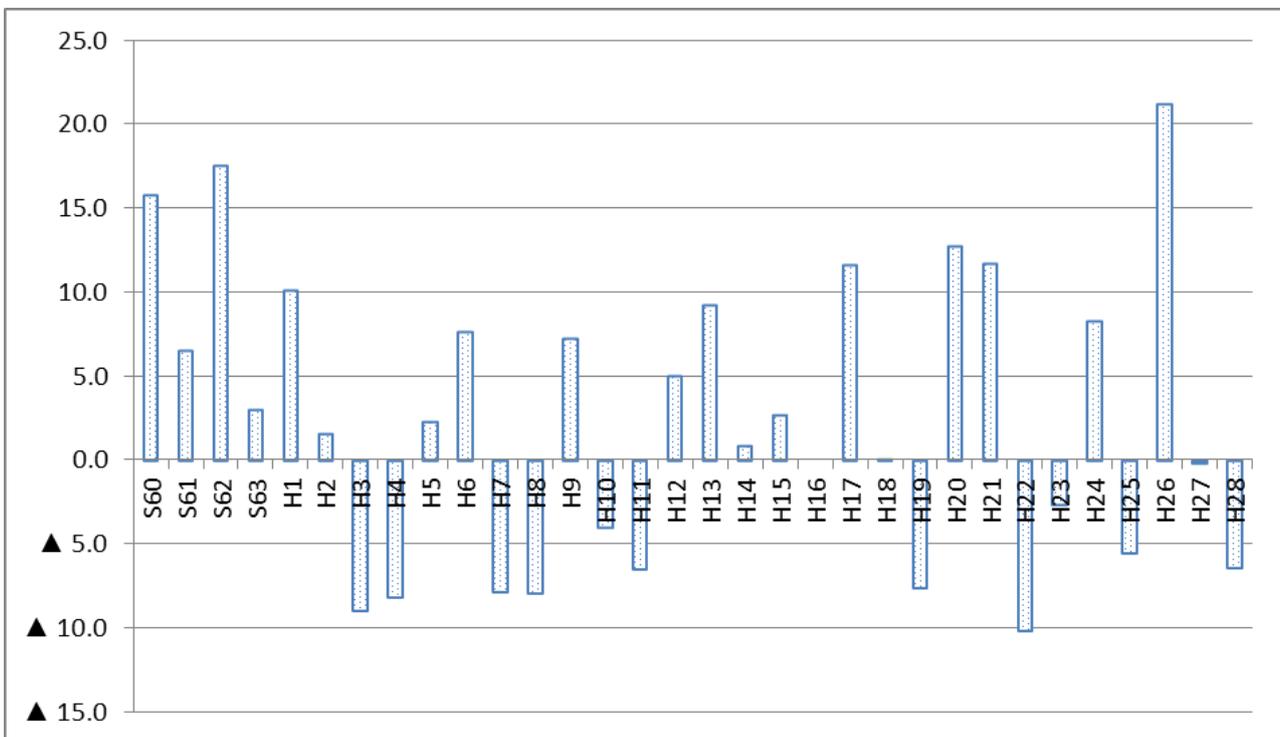
（単位：億円）



○ 実質収支\*（累積の黒字・赤字）は概ね10億円から30億円の間に推移していますが、財政規模の増加などに伴い、やや増加傾向にあります。

【グラフ】実質単年度収支（1年間）の推移

（単位：億円）



○ 実質単年度収支\*（決算年度1年間の黒字・赤字）は、この30年間で黒字18回・赤字12回です。平成27年度から2年連続の赤字です。